

平成21年度 森プロ事業実績：中濃森プロ

(平成22年3月末現在)

		H19~20年度	H21年度			5カ年
		実績	計画	実績	達成率	備考
集約化(ha)		54	5	33	660	46
作業道(m)		4,412	1,500	763	51	作業路含む 7,000
間伐等	面積(ha)	59	55	31	56	利用+切捨 250
	材積(m3)	2,128	3,600	498	14	9,200
備考		団地外実績(利用間伐22ha、搬出材積1,090m3、作業路開設1,558m)				

H21年度利用間伐等における所有者への還元額(補助金含む) 2,351 円/m3

施業集約化の状況

施工状況報告会を事業地にて開催。

所有者を招いての現地報告



施業プランの活用状況

プラン書にて個別に説明し承諾を得ている。

施業プランナーの養成状況

・森林施業プランナー：1名

作業道の状況

車両系作業システムであるが、機械システムと将来の経営を考慮し、また、作業ポイントも作設するため、幅員3.0~3.6mで開設。



バケットによる転圧



完成した高密度路網

作業システムの状況

平成21年度 素材生産性 約 7 m³/人・日

メインシステム: チェンソー(伐倒)→グラブプル(集材)→ハーベスタ(造材)→フォワーダ(運材)→グラブプル(積込)

状況にあわせて、スイングヤードで道まで集材する方法も選択



グラブプルによるフォワーダへの積込



山土場での積み込み

その他

作業システムや作業道開設技術を効率的に修得するため自主的な研修・視察を実施。

- 1 県林業普及指導員指導者研修
- 2 NHK取材
- 3 東海TV取材
- 4 スイス連邦大学及び名古屋大学視察
- 5 岐阜E・E企画作業路研修会
- 6 岐阜農林事務所作業路研修会
- 7 福知山地方生産森林組合視察
- 8 低コスト木材生産システムによる間伐研修会
- 9 須崎市財産区視察
- 10 石巻地区森林組合視察
- 11 天竜流域林業活性化センター視察
- 12 県作業道研修会
- 13 揖斐農林事務所・揖斐建設業協会視察
- 14 鹿児島大学視察

森プロの成果

路網整備と高性能林業機械を組み合わせた長伐期・非皆伐施業のモデル林として確立された。

作業路の必要性の再認識

時間雨量120mmの豪雨でも災害の発生しない作業路開設の実証が出来た。

今後の課題

森林整備の必要性を地域住民・森林所有者浸透させ地域をあげて施業集約化を推進していく体制強化の確立

林況に応じた間伐率・目標森林の設定、未整備森林の取扱い等森林づくりコンセプトの確立
排水、急傾斜地への対応等、作業路開設技術の向上

残存木保護のあり方の確立

作業路開設時の伐開幅の抑制